

令和5年度第2回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会議事要旨

1 日 時 令和5年6月24日（土）午前9時～午前10時

2 場 所 吹田市役所本庁舎 高層棟4階 特別会議室

3 欠 席 なし

4 議事録（概要）

（事務局）

定刻となりましたので、第2回選定等委員会を開催いたします。本日の委員の出席状況ですが、5名の委員皆様に御出席いただいておりますので、選定等委員会規則の開会要件を満たしていることを御報告いたします。それでは、委員長に進行をお願いします。

（委員長）

本日の案件は、千二、江坂大池及び青山台育成室の現状報告です。江坂大池育成室の指導員に出席をしていただいています。千二、青山台育成室につきましては、配付されている資料1及びヒアリング資料を御参照ください。委員の皆様におかれましては、委託事業者選定の一次審査に当たり、5段階評価で採点する上で、直営育成室の現状、標準的な運営状況の基準となる「ふつう」のレベルについて御確認いただきたいと考えています。それでは、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

各育成室の指導員からのヒアリングに先立ちまして、本市の留守家庭児童育成室の状況について事務局から御説明をさせていただきます。

資料1では、本市の直営育成室の状況や、今回委託対象となる3育成室の児童数、指導員数、昨年度の実施行事などの状況をお示ししています。

現在、育成室入室児童数が増加しており、今後、数年間はこの傾向が続く見込みであることから、指導員の確保が難しく、多くの育成室で欠員が生じている状況です。指導員の欠員解消の方策の一つとして運営業務の民間委託を行っており、昨年度の民間委託から2か所程度、育成室の民間委託を計画しています。今年度に関しましては、既に委託している青山台育成室の再公募を含めての3育成室となっています。

次に、ヒアリングについて説明をさせていただきます。指導員から各育成室の環境や保育内容などを説明し、その後、質疑応答となります。各育成室の基本的な情報に関しましては、説明資料のとおりとなっていますので、合わせて御確認ください。

（委員長）

それでは、江坂大池育成室のヒアリングを行います。

【江坂大池留守家庭児童育成室の概要を指導員から説明】

(委員長)

何か御質問がありましたらお願いします。

(委員)

学校との関係について、コロナ禍でできなかった行事等があると思いますが、その辺り、コロナ禍において、一緒にお祭り等のイベントや合同訓練等はできてますでしょうか。

(指導員)

太陽の広場とは合同で避難訓練を実施しています。行事については、なかなかすべての行事はできていませんが、今年度から少しずつ増やしていこうと指導員間で共有しています。保育の柱の行事として実施している「あめんぼ祭り」では、学校の先生から体育館をお貸しいただいて開催できたり、新入生歓迎会として、上級生が一年生のために遊びのコーナーを考えて楽しませてあげる行事では、学校の先生が通りかかったタイミングで声をかけさせてもらい、一緒に参加してくれたりということはしています。

(委員)

保護者とのコミュニケーションをとる上で、全体の懇談会や個別の相談も含めて、特に工夫しておられること、あるいは非常に困難と感じておられることも含めて教えていただけたらと思います。

(指導員)

学級懇談会については、コロナ禍前は全体で集まって開催していましたが、コロナ禍ということもあり、なるべく分散して子供たちの様子をより詳しく、リアルタイムにお伝えしたいと思い、学年別はもちろんですが、クラス別で集まるようにしています。そのように小さい集団にすることで、同学年の繋がりをつくることができ、指導員も顔を見て一緒にお話する時間をなるべくとるようにしています。

ただ、個人的なトラブルになると、懇談会の場ではお話できないので、連絡帳や開室時間後の子供たちが帰った後に保護者の方と電話でお話して、必要があれば保護者同士の気持ちが上手く繋がるように仲介をしています。

(委員)

子供のトラブルが保護者同士のトラブルに結びつくこともあると思いますが、そんな時に学校の先生との連携はどうされていますか。

(指導員)

程度にもよりますが、育成室の中で起きて解決したことについては、基本的には共有していませんが、学校から続いているトラブル、休日や帰り道のトラブルなど、学校にも共有した方がよい内容について、教頭先生を窓口、必要があれば担任の先生にも共有しています。最近の事例として、育成室の指導員のスリッパを、いたずらで卒業生の子供が隠すということがありましたが、すぐに教頭先生に相談したところ、職員会議で

共有してくださるなど、迅速に対応してくださいました。

(委員)

立地について、環境が変わる中で気をつけていかなくてはいけないこともあるということでしたが、具体的にお聞かせいただいてよろしいでしょうか。

(指導員)

特に心配しているのは要配慮児童で、場所が変わると落ち着かなくなる児童がいます。人数が増えたことによって、教室が変わった時に、教室に入れなかったことがあります。その他にも、コミュニケーションがとりにくい児童は、環境が変わることによる配慮が必要だと思います。クラス替えはしない予定ですが、登室時の様子や、よりコミュニケーションをとり、子供同士を繋ぐことをしないといけないと思っています。

(委員)

太陽の広場との連携として、学期に1回の連絡会議を行っているということで、先ほどの要配慮児の情報など、学期に1回の会議で賄えない部分は随時共有されているのでしょうか。

(指導員)

江坂大池小学校の太陽の広場のフレンドはPTAの方なので、中には顔見知りの保護者の方もおり、コミュニケーションは取りやすい関係です。クラスの学校の友達とも遊べる場所ですので、指導員も全体を見ながらフォローしています。どうしても必要なことがあれば、教頭先生を通じてお伝えさせていただいています。こちらから太陽の広場の時間に一緒に参加してもいいかは、事前にフレンドさんに挨拶に行って、コミュニケーションをとっています。

(委員長)

質問は以上でよろしいでしょうか。

それでは、以上で第2回委託事業者選定等委員会を閉会します。